

木根川小学校 学校地域応援団が  
文部科学大臣表彰を受賞

平成23年11月、木根川小学校の学校地域応援団が、「優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰」を受賞しました。

この賞は、子どもたちを健やかに育てるために、学校、家庭、地域が連携協力し、社会全体の教育力向上に向けた取組を推進することを目的に、今年度文部科学省で新設された賞です。

木根川小学校の学校地域応援団は、平成15年から保護者がボランティアとして学校を支援する組織がつけられていたこともあり、平成20年度より学校地域応援団のモデル校として事業が始まりました。これまでの学習支援、水泳指導、読み聞かせ、図書館整備などの支援活動を継続するとともに、新たに地域との協力関係を築き、畑づくり・田んぼづくり、地域の歴史を学ぶ授業、エコキャップの回収・講演会など、支援活動の幅が広がっています。

学校長からは、「畑や田んぼの作業活動を通じ、子どもには、普段接している方に素晴らしい知恵を持っていることが分かり、自然と『畑の先生』と呼び、その技術を学ぶ姿が見られます。保護者も一緒に作業を行う中で、農業に関わる話

を多く聞くことができます。また、指導者も、仲間から色々な知識を得る努力をして、子どもや保護者に教えています。

このように農作業体験を通して、子ども、保護者、地域の方の交流が深まることに、新たな学びの機会となるなど、地域の中の学校という意識の変化がみられます。」との感想が聞かれました。

支援活動の中核を担ってきたのは、地域コーディネーターです。青少年育成地区委員会等の会議に出席し、学校地域応援団活動のPRや、ボランティアの募集など、地域との協力関係を深めています。また、地域コーディネーターが学校に設置した連絡ボードを活用することで、教職員との連携が密になり、協力体制が築かれています。

このような仕組みづくりの結果として、保護者をはじめ、地域の方や木根川小学校の卒業生も含め、平成23年度は、12月末現在でのべ1千800人以上の区民がボランティアとして活躍しました。



木根っ子村  
サツマイモの種イモ植え

■学校地域応援団とは

学校地域応援団は、これまでの地域と学校との協力関係を基盤として、さらに様々な人や団体が、ボランティアとして参加しやすい仕組みを作り、学校を核とした支援の輪を広げていくものです。平成20年度よりモデル校3校で始まり、平成24年1月現在、21校と事業が広がっています。

葛飾区では、地域ぐるみで子どもたちの教育を支え、豊かな教育環境を整備する『学校地域応援団』を区立小・中学校全校に設置していきます。

地域教育課 ☎(5654)8589

教育委員会の動き

平成23年10月から12月の間に、教育委員会での会議が7回開催され、12件の議案と31件の報告事項を審議し、すべて可決・了承されました。

主な議案・報告事項等は以下のとおりです。

●葛飾区郷土と天文の博物館条例の一部を改正する条例に関する意見聴取(議案)

●葛飾区文化財保護審議会への諮問について(議案)

○葛飾区教育振興ビジョン(第2次)の取組について(平成23年度上半期取組状況)(報告)

○葛飾区生涯学習振興ビジョンの取組について(平成23年度上半期取組状況)(報告)

○平成22年度児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について(報告)

○平成24年度当初予算要求概要(教育費)について

○平成24年度学校選択集計結果について(報告)

詳しくは葛飾区ホームページ  
<http://www.city.katsushika.jp>

をご覧ください。

庶務課 ☎(5654)8449



文部科学大臣表彰授賞式  
(右から)浅岡コーディネーター、  
本間校長、応援団員の松本さん